

イスラエルの侵攻で
ガザの戦死者は率相馬の人口と
ほぼ同じ5万6千人

九条みなみそうま

「みなみそうま九条の会」会報 No.424

2025(令和7)年7月18日(金)発行



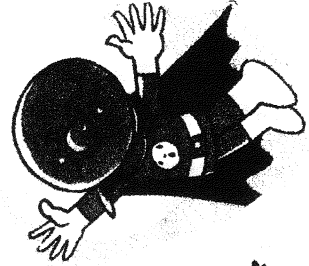
政治を変えるのは「選挙」です！「平和・人権・環境」の3つの基準で投票を！
軍拡より外交努力で、各国協調の国際主義で、今さら男だ女だの時代ではない…

私たちも戦争なんて大きらい！

○マンガ『アンパンマン』のやなせたかしをモデルにしたNHK連続テレビ小説『あんぱん』が戦争と平和を考えさせるドラマとして話題です。

○そこで、やなせたかしの自伝「ぼくは戦争は大きらい」の一部を転記してみました。

やなせたかし 1919(大正8)年高知県生まれ。東京高等工芸学校卒。東京田辺製薬に入社後、徴兵され小倉、中国戦線へ。復員後、高知新聞に入社、雑誌を編集。上京し三越宣伝部に勤務。退社し作詞家、舞台美術家、放送作家として活躍。2013年10月13日死去(94歳)



戦争映画などを見るとカツコイイと思うのかもしれないが、本当は全然格好よくないのです。ぼくが言いたいのは、戦争にならないように、日頃からがんばって、みんなが戦争なんかはしなくてすむ世の中にしよう、ということです。戦争をしなくていいんだから、軍隊なんていらなくなります。でも、これはとても難しいことです。ぼくは、戦争の原因は「飢え」と「欲」ではないか、と考えています。腹が減ったから隣の国からとってこようとか、領土でも資源でもちゃんとあるのにもっと欲しいとか、そういうものが戦争につながるのです。ぼくは『アンパンマン』の中で描こうとしたのは、分け与えることで飢えはなくなるということと、嫌な相手とでも一緒に暮らすことはできるということです。「マンガだからできることだ」「現実にはムリだ」なんて言わずに若い人たちが真剣に考えてくれればうれしいです。

(やなせたかし「ぼくは戦争は大きらい」小学館)

ぼくは人を殺す戦争はきらいです。憎くもなんともない人を殺すのは嫌なのです。戦争はしないほうがいい。一度戦争をしたら、みんな戦争がきらいになりますよ。本当の戦争を知らないから「戦争をしろ」とか、「戦争をしない」と考えるのです。

やなせたかしだけでなくほかの漫画家たちも戦争を憎んでいます！

自分の戦争体験を元に、漫画家も作品の中で戦争反対や平和を訴えています



「ゲゲゲの鬼太郎」水木しげる

「はだしのゲン」中沢啓治



「鉄腕アトム」手塚治虫

「銀河鉄道999」松本零士
「あしたのジョー」ちばてつや
「釣りバカ日誌」北見けんいち
「ゴルゴ13」さいとうたかを

講演会のお知らせ

<戦後80年 原爆写真展>

○8月2日(土) 【入場自由】

○会場：道の駅「南相馬」ホール

○内容：原爆パネルの展示 午前10時～午後4時

講話：午後1時～3時

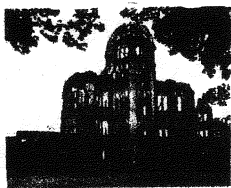
①講師 写真家 大槻明生(原町区)

②講師 山崎健一(福島県・みなみそうま九条の会事務局長)「戦争体験を収集して」

○主催：「原爆写真展」実行委員会

(問い合わせ TEL080-3322-6821 荒木)

○後援：南相馬市 南相馬市教育委員会

**講師の大槻明生さん**

昭和9年2月原町生まれ。

実家が中央通りで、昭和20年8月9・10日の空襲で近くに30キロ爆弾が投下されて、防空壕の中で死を覚悟した体験を持つ。原ノ町駅や原一小、帝国金属工場、原町紡織工場の空襲も目撃し、そんな戦争の生々しい実体験をお話されます。

写真家として、原町の戦争遺跡の原町飛行場、また大震災の様子を撮影し、毎年写真展を開催しています。

**学習会のお知らせ**

<小高学講座「鈴木安蔵と小高の人物」>

○8月24日(日) 午前10時～12時

○会場：小高区仲町 鈴木家住宅

○内容：鈴木家を取り巻く小高の人物模様を通して、安蔵が憲法草案を書くに至る道のりを学びます。 ○会費：500円(鈴木家住宅管理へのカンパ)

○共催：小高幻流×「鈴木安蔵を語る会」

【予約不要、参加自由です。

○連絡先：すぎた和人 TEL 090-8817-1700

直接会場へお気軽にお出ください】

<事務局より>

お疲れ様でした 感謝申し上げます

本会の設立から20年間、あの東日本大震災を乗り越えて、様々な行事や活動や会の運営にご尽力いただいた平田慶肇会長、早坂吉彦事務局長、会計の井上由美さん、事務局の番場恵子さん、大浦祥見さん、本当にお疲れ様でした。

これからもお世話になることがあると思いますが、よろしくお願いします。(新事務局員一同)



6月15日の『日本の青空』上映会の入場者は40名。多くの入場を期待していた企画者の一人として責任を感じます。でも「一人だって入場される方がいればいいじゃないか」と励まされています。

新体制でしばらくの間は運営も活動も試行錯誤です。6月4日に初の事務局会を開きました。

今年は戦後80年であると共に、朝鮮戦争勃発から75年。民主的な憲法を作ろうとしたGHQ・米国の立場もこれを機にガラリと変わり、日本にも再軍備と米国協力を迫りました。九条の会もこの5年間の変化を考えることも重要ではないか。

5月24日(土)、「第14回9条の会東北交流会」が盛岡市で開かれ、福島県を代表して「はらまち九条の会」(事務局山崎)が、「はらまち九条の会」独自の活動を報告してきました。また、弁護士猿田佐世さんによる記念講演があり、「軍拡でなく今こそ外交で平和をめざす時。外交でなければ平和は達成できない」という力強い内容でした。猿田さんはテレビに出演、全国で講演を行っています。

今年2025年の会費納入をお願いします

■物価高の折大変恐縮ですが、今年の年会費(1,000円)の納入をよろしくお願いいたします。数年分の納入でもけっこうです。未納の方にのみ「払込取扱票」を同封いたしました。(すでに納入済みの方には同封していません) ■これまで通り事務局員へ直接納入していただいてもけっこうです。

「みなみそうま九条の会」新・事務局

(2025年6月15日改選)

○会長：田中徳雲(小高区新) TEL0244-44-2335 〒979-2102 南相馬市小高区上広畑246

○事務局長：すぎた和人(小高区・新) TEL090-8817-1700 事務局会計：島 由季(原町区・新)

事務局：若松麟二(原町区) 石田賢二(郡山市) 志賀勝明(相馬市) 佐藤喜彦(原町区)

勝治美喜子(原町区・新) 山崎健一(福島市) Eメール：yamazakiken1@gmail.com